

西栗倉小学校・西栗倉中学校

学習の手引き

小学校中学校連携した
『学力向上を目指して』



西栗倉村教育ネットワーク
西栗倉村教育委員会



も く じ

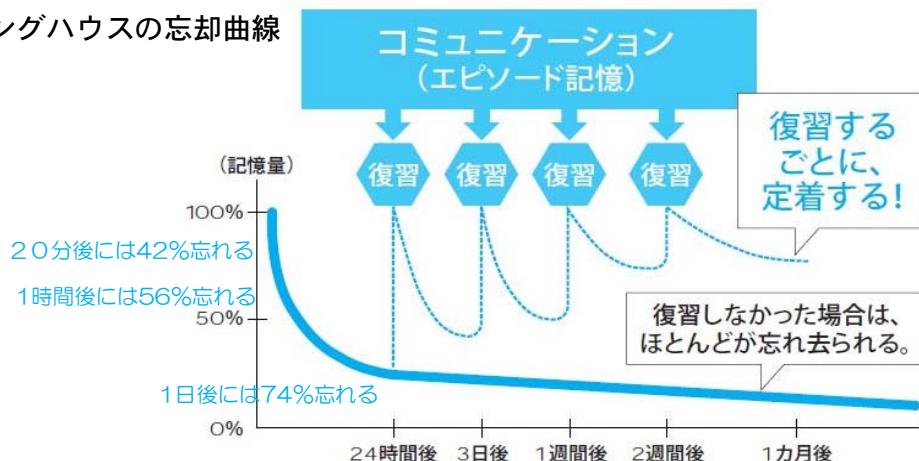


◆はじめに	・・・・・・・・ 1ページ
◆小学校の学習とは	・・・・・・・・ 2ページ
◆小学校学年別家庭学習の手引き	
*1年生	・・・・・・・・ 3ページ
*2年生	・・・・・・・・ 4ページ
*3年生	・・・・・・・・ 5ページ
*4年生	・・・・・・・・ 6ページ
*5年生	・・・・・・・・ 7ページ
*6年生	・・・・・・・・ 8ページ
◆中学校の学習とは	・・・・・・・・ 9ページ
◆中学生これではっちり教科別学習方法	
*国語の学習方法	・・・・・・・・ 11ページ
*数学の学習方法	・・・・・・・・ 12ページ
*社会の学習方法	・・・・・・・・ 13ページ
*理科の学習方法	・・・・・・・・ 14ページ
*Englishの学習方法	・・・・・・・・ 15ページ
*音楽の学習方法	・・・・・・・・ 16ページ
*美術の学習方法	・・・・・・・・ 17ページ
*保健体育の学習方法	・・・・・・・・ 18ページ
*技術の学習方法	・・・・・・・・ 19ページ
*家庭科の学習方法	・・・・・・・・ 20ページ

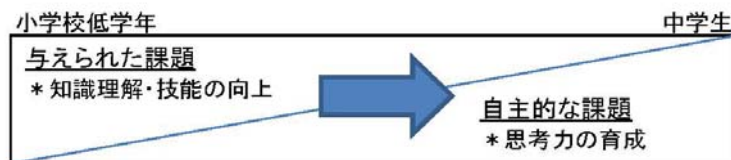
はじめに

小学校、中学校での学習は、子どもたちが将来社会人として自立するための基礎となる「学ぶ力」を育てます。子どもたちの学力向上を図るには、「授業の充実」が一番の柱ではあるものの、学習習慣を定着させたり、授業がよりわかるようになるためには家庭学習が欠かせません。心理学者エビングハウスの研究によれば、完璧に覚えたつもりでも1日たてば7割以上が記憶から消えてしまうと言われています。しかし、反復することで忘れる割合は大幅に低くなることも証明されています。つまり、その日のうちに復習を行う人ほど、学習が身についていることが多いです。

エビングハウスの忘却曲線



そこで、小中連携した「学習の手引き」は、学年に応じた学習内容や家庭学習時間の目安などを示すことにより、小学校入学から中学校卒業までの9年間で「復習・予習→授業→復習・予習」のサイクル化が図られ、見通しをもって、自ら学ぶ習慣が身につくことを期待し作成しました。



発達段階	家庭学習のねらい	家庭学習の目安時間
小学校低学年	<u>与えられた課題中心</u> 家庭学習に取り組む習慣を身につける	15～20分
中学年	<u>自主学習の導入</u> 自分からすすんで、家庭学習に取り組む習慣を身につける。簡単な自主学習(予習・復習)を行う。	30～40分
高学年	<u>自主学習の習慣化</u> 家庭学習に確実に取り組み、予習や復習をすすめることができる	50～60分
中学1・2年	<u>計画的な家庭学習の実施</u> 宿題+予習・復習を行い、定期テスト勉強の計画と実行	90～120分
中学3年	<u>進路に向けて総まとめ</u> 宿題+予習・復習+定期テスト勉強の計画と実行そして、進路に向けて9年間の総復習	120～180分

また、学ぶ意欲を育むためには、子どもたちの生活基盤である家庭での関わりもとても大切になります。学力向上と「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣とは大きくかかわっています。学校と家庭が協力して、子どもたちの力をさらに高めていきましょう。

この、冊子は、今後も修正や改善を加えながらよりよいものにしていきたいと考えております。

まずは、この「学習の手引き」をご一読いただき、お子様といっしょに現在の様子を点検してみてください。

ご理解とご協力をお願いいたします。



小学校の学習は、社会人として将来自立するための基礎となるものです。とくに「読むこと」「書くこと」「計算すること」などは、欠かすことができない『生きるための力』です。

学校では、一斉指導だけでなく個別指導やＴＴ指導など「個に応じた指導」の取り組みや基礎基本の定着を図るための「どんどんチャレンジ」（自分で弱点を克服しながらすすんで学習する取り組みを）など、楽しく自ら学ぶ子どもの育成を目指して授業を行っています。次ページからは学年に応じた家庭学習の習慣化のポイント、家庭学習の内容や方法、時間の目安などをのせています。

学校（教師）と家庭（保護者）が連携して、子どもの学習意欲を高め、家庭学習の習慣化を図りましょう。

家庭学習によって、次のような効果が期待できます。

①学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「わかった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。



③脳の活性化

読み、書き、計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになります。鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなります。小学生のうちからどんどん脳を鍛えましょう。

②学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。毎日続けることで、やがて、当たり前前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

④我慢強さ、根気、集中力をつける

家庭学習の最大の敵はテレビやゲームなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、我慢強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて学習や読書等の時間をしっかりと確保したいものです。そのためには、テレビを消す、みんなで読書をするといった家族全員の協力が必要です。

⑤家族のふれあい

「音読をしている時、横で聞いてあげる」「勉強が分からない時、教えたり調べたりする」など家庭学習をしている子どもに親が関わることによりコミュニケーションが図れます。また、家族のふれあいの機会を増やすことは、子どもの精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。

1 年生はこんな時

習慣づけの1年生

- ・いろいろなことに興味をもち、何でも知りたがっています。
- ・1人で家庭学習をやりきらせるためには、家族の手助けが欠かせません。
- ・成長に個人差が見られます。
- ・がんばったこと、良いことはほめてほしいと思っています。

学校の主な学習内容

- ・「読み・書き・計算」など、基礎的・基本的な学習が始まります。ひらがな、カタカナ、80字の漢字を学習します。
- ・教科ごとの45分間授業が基本です。先生の話をしっかり聞いて学習します。
- ・外国語活動もあります。（週に30分）
- ・着席の姿勢、話の聞き方、発表の仕方など学習と規律の心構えを身につけます。
- ・生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。
- ・繰り返し練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- ・「鉛筆を正しく持つ」「明日の学習準備をする」「整理整頓をする（持ち物の管理をする）」は学習の基本です。

家庭学習のねらい

1. 2年生

家庭学習に取り組む習慣を身につけることが出来る



えんぴつの正しい持ち方

自主学習にもチャレンジ

- ・生活科での学習に関連して、自然の生きもの、植物にふれるようにしましょう。
- ・なわとびや鉄棒など体力づくりにもチャレンジしましょう。
- ・子どもの興味をひく本をそばに置き、読み着かせをしたり自分でいろいろな本を読む習慣をつけさせたりしましょう。
- ・お家でのお手伝いにもチャレンジさせましょう。

がんばりを認め、
ほめて励ます魔法の言葉

「よくできたね」「きれいに書けたね」
「がんばっているね」「これもできそうだね」
「もう一度やってみようか」

家庭学習の習慣化づくりのポイント

家庭学習を始める前に

- 少ない時間でも一緒にしましょう。
- 学校からの連絡やおたよりと一緒に確かめましょう

1. なるべく決まった時間に学習する。
2. 集中して学習する（時間のめやす 20分）
3. 家庭学習をしているときは、テレビを消す。
4. 整頓された場所で、よい姿勢で学習する。
5. 前日に次の日の学校へ行く準備をする。
（時間割をする、鉛筆を削る、持ち物の用意をする）
お子さんと一緒に確認してあげて下さい。

家庭学習 こんな内容・方法で

毎日の連絡帳に宿題を記入しています。一緒に確認してあげて下さい。文字をていねいに書かせ、最後までやりきれないようにしましょう。

【国語】

- ・音読（めあてを決めて、大きな声ではっきり読めるようにしましょう。家族がしっかり聞いてほめましょう）
- ・ひらがな、カタカナ、漢字練習
（ていねいにゆっくり書きましょう。
書き順をしっかり覚えましょう。）

・作文

【算数】

- ・計算ドリル
- ・計算プリント

規則正しい生活習慣が大切です

「学力」の向上には「体力」が必要です!!

1. 「早寝・早起き・朝ごはん」の支援をお願いします。
2. 毎日、少しずつでも運動が出来るよう声かけをお願いします。
3. テレビやゲームの時間を話し合って決めましょう
4. あいさつができるようにしましょう。

2年生はこんな時

習慣が定着しはじめる2年生

- ・1年間の学校生活の流れを経験し、見通しが持てるようになっていきます。
- ・学校や友達の様子をすすんで話すようになります。子どもの話にしっかり耳を傾けましょう。
- ・できることは自分ででき、自分のことは自分でする習慣をつけるのによい時期です。
- ・正しい箸の持ち方や鉛筆の持ち方はこの時期までに身につけさせましょう。日頃から意識してアドバイスを続け、努力を認めたり、ほめたり励ましたりする親の姿勢が子どもを育てます。

学校の主な学習内容

- ・「読み・書き・計算」など基礎的・基本的な学習が中心です。
- ・国語では、書かれていることがらの順序や場面の様子などに気づいたり想像を広げたりしながら読む能力を身につける学習をします。2年生では、160字の漢字を学習します。
- ・算数では、10、000までの数、時間、時刻、かけ算九九、三角形と四角形、表とグラフについて学習します。
- ・繰り返し学習することで身につく学習内容がたくさんあります。

家庭学習のねらい

1. 2年生 家庭学習に取り組む習慣を身につけることが出来る



えんぴつの正しい持ち方

自主学習にもチャレンジ

- ・生活科での学習に関連して、自然の生きもの、植物にふれるようにしましょう。
- ・なわとびや鉄棒など体力づくりにもチャレンジしましょう。
- ・子どもの興味をひく本をそばに置き、読み聞かせをしたり自分でいろいろな本を読む習慣をつけさせたりしましょう。
- ・お家でのお手伝いにもチャレンジさせましょう。

がんばりを認め、
ほめて励ます魔法の言葉

「よくできたね」「きれいに書けたね」
「がんばっているね」「これでもできそうだね」
「もう一度やってみようか」

家庭学習の習慣化づくりのポイント

家庭学習を始める前に

- 少ない時間でも一緒にしましょう。
- 学校からの連絡やおたよりと一緒に確かめましょう

1. なるべく決まった時間に学習する。
2. 集中して学習する（時間のめやす 30分）
3. 家庭学習をしているときは、テレビを消す。
4. 整頓された場所で、よい姿勢で学習する。
5. 前日に次の日の学校へ行く準備をする。
（時間割をする、鉛筆を削る、持ち物の用意をする）
お子さんと一緒に確認してあげて下さい。

家庭学習 こんな内容・方法で

宿題を最後までやったかどうか、家族の目で点検しましょう。
家族のアドバイスが必要です。

【国語】

- ・漢字ノートに漢字練習（漢字ドリル等）
- ・音読（内容や様子がわかるように読む）

【算数】

- ・算数プリント
- ・計算ドリル

【自主学習】

- ・読書
- ・作文

規則正しい生活習慣が大切です

「学力」の向上には「体力」が必要です!!

1. 「早寝・早起き・朝ごはん」の支援をお願いします。
2. 毎日、少しずつでも運動が出来るよう声かけをお願いします。
3. テレビやゲームの時間を話し合って決めましょう
4. あいさつができるようにしましょう。

家庭学習の手引き

西栗倉小学校 3年

家庭学習時間のめやす
40分

3年生はこんな時

視野を広げることができる3年生

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。

子どもの興味や関心に応じた本を置いたり、生活経験を増やしていき、意欲をふくらませたりするような励ましが必要です。

自分でやろうとすることが増えてきますが、まだ手助けは必要です。

がんばりを認め、
ほめて励ます言葉かけ

- ・子どものちょっとしたがんばりをほめましょう。
- ・他の子と比べず、昨日の我が子と比べてほめる言葉を工夫しましょう。

学校の主な学習内容

「生活科」がなくなり「理科」「社会科」の学習が始まります。

・国語では、目的に応じ内容の中心をとらえたり、段落の関係を考えたりしながら学習します。3年生では、200字の漢字を学習します。

・算数では、わり算やかけ算の筆算、分数・小数のたし算、ひき算など学習します。

・社会では、わたしたちのまちのようす、くらしを支える人々、昔のくらしについて学習します。

・理科では、植物の一生や昆虫の観察、磁石と電気、重さについて学習します。

家庭学習の習慣化づくりのポイント

家庭学習を始める前に

- 学校からの連絡やおたよりを保護者に手渡す習慣をつけさせましょう。
- 今日の宿題と明日の学習準備を自分で確かめさせましょう。

1. 決まった時間に学習する。
2. 集中して学習する（時間のめやす 40分）
3. 家庭学習をしているときは、テレビを消す。
4. 整頓された場所で、よい姿勢で学習する。
5. 前日に次の日の学校へ行く準備をする。
（時間割をする、鉛筆を削る、持ち物の用意をする）

家庭学習のねらい

3. 4年生

自分からすすんで、家庭学習に取り組む習慣を身につけることができる



えんぴつの正しい持ち方

家庭学習 こんな内容・方法で

課題が示された宿題のほかに、自主学習も始めます。

【国語】

- ・音読
- ・漢字ドリル
- ・漢字プリント

【算数】

- ・計算ドリル
- ・算数プリント

【その他】

- ・読書
- ・作文
- ・自主学習

自主学習にもチャレンジ

- ・教科書を読む
- ・自主学習ノート
漢字、計算や自分の見つけた課題を深く追求する

規則正しい生活習慣が大切です

「学力」の向上には「体力」が必要です!!

1. 「早寝・早起き・朝ごはん」の支援をお願いします。
2. 毎日、少しずつでも運動が出来るよう声かけをお願いします。
3. テレビやゲームの時間を話し合って決めましょう
4. あいさつができるようにしましょう。

4年生はこんな時

9歳の壁を破ることができる4年生

言葉の獲得能力が高くなり、抽象的な思考が出来るようになると言われています。人は自然に12歳までに抽象的思考ができるようにプログラムされています。ちょうど9歳の頃に具体的思考から抽象的思考に移行するのです。その壁で「勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識を持つこともあります。

また、興味・関心の幅も広がり、「どうしてだろう?」と思うことなどを自分でどんどん調べたり、いろいろな方法で考えたりすることが学力アップのカギです。自信を持たせたり、意欲をふくらませたりするようなアドバイスや励ましの言葉によってやる気を起こします。

学校の主な学習内容

- ・国語では、目的に応じ内容の中心をとらえたり段落の関係を考えたりしながら学習します。漢字は200字を学習します。
- ・算数では、いろいろな四角形や垂直、平行、面積、小数のかけ算、わり算を学習します。
- ・社会では、暮らしを支える社会のしくみや岡山県の自然や産業、暮らしについて学習します。
- ・理科では、空気や水の性質、月や星について学習します。

家庭学習のねらい

3. 4年生

自分からすすんで、家庭学習に取り組む習慣を身につけること



えんぴつの正しい持ち方

自主学習にもチャレンジ

- ・教科書を読む
- ・自主学習ノート
漢字、計算や自分の見つけた課題を深く追求する

がんばりを認め、
ほめて励ます言葉かけ

- ・子どものちょっとしたがんばりをほめましょう。
- ・他の子と比べず、昨日の我が子と比べてほめる言葉を工夫しましょう。

家庭学習の習慣化づくりのポイント

家庭学習を始める前に

- 学校からの連絡やおたよりを保護者に手渡す習慣をつけさせましょう。
- 今日の宿題と明日の学習準備を自分で確かめさせましょう。

1. 決まった時間に学習する。
2. 集中して学習する(時間のめやす 50分)
3. 家庭学習をしているときは、テレビを消す。
4. 整頓された場所で、よい姿勢で学習する。
5. 前日に次の日の学校へ行く準備をする。
(時間割をする、鉛筆を削る、持ち物の用意をする)

※宿題以外の学習にも挑戦させましょう。

家庭学習 こんな内容・方法で

(課題が示された)宿題のほかに、自主学習もチャレンジしよう

【国語】

- ・音読
- ・漢字ドリル、漢字プリント

【算数】

- ・計算ドリル、計算プリント
- ・教科書練習問題

【その他】

- ・自主学習
- ・読書
- ・辞書引き
- ・社会プリント
- ・作文

規則正しい生活習慣が大切です

「学力」の向上には「体力」が必要です!!

1. 「早寝・早起き・朝ごはん」の支援をお願いします。
2. 毎日、少しずつでも運動が出来るよう声かけをお願いします。
3. テレビやゲームの時間を話し合って決めましょう
4. あいさつができるようにしましょう。

5年生はこんな時

すすんで学習に取り組める5年生

心も体も急激に変化します。心と体のバランスがくずれ、不安定になったり、一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になります。

得意なものはさらに力がつくように、苦手なものは基礎の見直しをしながらくり返し学習しておくことが大切です。先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味、関心も大きく伸びてきます。興味や必要性のある自主学習に取り組めるようになります。

学校の主な学習内容

家庭科の学習が始まります。

- ・国語では、目的に応じ、内容や要旨をとらえながら学習します。5年生では、185字の漢字を学習します。
- ・算数では、分数のかけ算、わり算、図形の面積、体積、単位量、割合など学習します。
- ・社会では、日本の国土と人々の暮らし、私たちの食生活と食料生産、工業、情報について学習します。
- ・理科では、うけつがれる生命、植物の発芽、メダカの誕生、天気、ものの溶け方、電磁石、ふりこについて学習します。

家庭学習のねらい

5. 6年生

家庭学習に確実に取り組み、予習や復習をすすめることができる。



えんぴつの正しい持ち方

自主学習にもチャレンジ

- ・予習・復習
 - ・自主学習ノート
- 自分の見つけた課題を深く追求する

言葉かけの工夫をしましょう

子どもの話をよく聞き、成長を温かく見守ることで、将来の夢や目標をもって努力するようになります。

家庭学習の習慣化づくりのポイント

家庭学習を始める前に

- 学校からの連絡やおたよりを保護者に手渡す習慣をつけさせましょう。
- 宿題を自分で確かめ、やる順番を決めさせましょう。

1. 決まった時間に学習する。
2. 集中して学習する（時間のめやす 60分）
3. 家庭学習をしているときは、テレビを消す。
4. 整頓された場所で、よい姿勢で学習する。
5. 前日に次の日の学校へ行く準備をする。（時間割をする、鉛筆を削る、持ち物の用意をする）

※宿題以外の学習にも挑戦させましょう。

家庭学習 こんな内容・方法で

学校での学習を振り返りながら、苦手な教科も粘り強く取り組めるようにアドバイスしましょう。

【国語】

- ・音読
- ・漢字プリント
- ・漢字ドリル

【算数】

- ・計算ドリル、計算プリント

【その他】

- ・社会科調べ
- ・作文
- ・読書
- ・辞書引き
- ・自主学習

規則正しい生活習慣が大切です

「学力」の向上には「体力」が必要です!!

1. 「早寝・早起き・朝ごはん」の支援をお願いします。
2. 毎日、少しずつでも運動が出来るよう声かけをお願いします。
3. テレビやゲームの時間を話し合って決めましょう
4. あいさつができるようにしましょう。

6年生はこんな時

中学校生活に希望を持てる6年生

考える力も大人並みになり、時には大人への反抗も見られます。心と体のバランスがくずれ不安定になることもあります。

小学生最後の1年です。得意な教科と苦手な教科を意識し始めますが、将来の夢や希望をもち、小学校の学習のまとめをして、中学校へつなげる大切な学年です。思い出づくりや、中学への準備などで忙しくなりますが、中学生になってつまづかないように苦手をなくしておきたいところです。

学校の主な学習内容

- ・国語では、目的に応じ、内容や要旨をとらえながら学習します。6年生では、181字の漢字を学習します。
- ・算数では、対称、文字と式、速さ、立体の体積、円の面積、拡大図と縮図、比例と反比例など学習します。
- ・社会では、歴史、私たちの願いと政治、日本とつながりの深い国々、国際連合について学習します。
- ・理科では、ものの燃焼、植物のつくりとはたらき、水溶液、月と太陽、大地のつくり、てこ、発電について学習します。

家庭学習のねらい

5. 6年生
家庭学習に確実に取り組み、予習や復習をすすめることができる。



えんぴつの正しい持ち方

自主学習にもチャレンジ

- ・予習、復習
- ・自主学習ノート
自分の見つけた課題を深く追求する

言葉かけの工夫をしましょう

子どもの話をよく聞き、成長を温かく見守ることで、将来の夢や目標をもって努力するようになります。

家庭学習の習慣化づくりのポイント

家庭学習を始める前に

- 学校からの連絡やおたよりを保護者に手渡す習慣をつけさせましょう。
- 宿題を自分で確かめ、やる順番を決めさせましょう。

1. 決まった時間に学習する。
2. 集中して学習する（時間のめやす 60分）
3. 家庭学習をしているときは、テレビを消す。
4. 整頓された場所で、よい姿勢で学習する。
5. 前日に次の日の学校へ行く準備をする。
（時間割をする、鉛筆を削る、持ち物の用意をする）

※宿題以外の学習にも挑戦させましょう。

家庭学習 こんな内容・方法で

学校での学習を振り返りながら、苦手な教科も粘り強く取り組めるようにアドバイスしましょう。

【国語】

- ・音読
- ・漢字ドリル
- ・漢字プリント

【算数】

- ・計算ドリル、計算プリント

【その他】

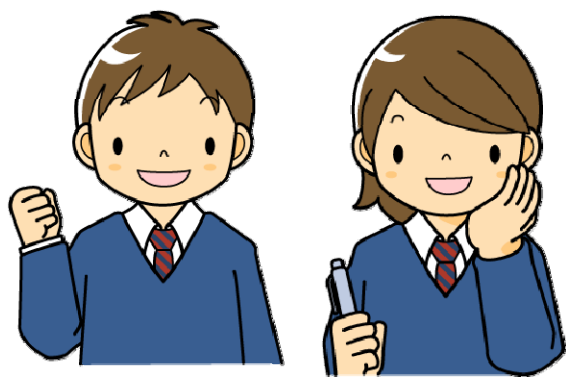
- ・社会科調べ
- ・作文
- ・読書
- ・辞書引き
- ・自主学習

規則正しい生活習慣が大切です

「学力」の向上には「体力」が必要です!!

1. 「早寝・早起き・朝ごはん」の支援をお願いします。
2. 毎日、少しずつでも運動が出来るよう声かけをお願いします。
3. テレビやゲームの時間を話し合って決めましょう
4. あいさつができるようにしましょう。

**中学校の学習は、
「自分の夢を実現する」「社会人として生きていく」ために必要な
『生きるための力』です。**



中学校になると部活動なども始まり、生活リズムが大きく変わります。「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣が学力向上と大きく関わっています。また、この時期は、心も体も急激に成長しますが、バランスが崩れ、ちょっとしたことで不安や悩みを抱え、気分が不安定になることもあります。子どもの学習を温かく見守り、しっかり支えていくことは、子どもが学ぶ意欲をもって毎日継続して学習に取り組むうえで重要です。

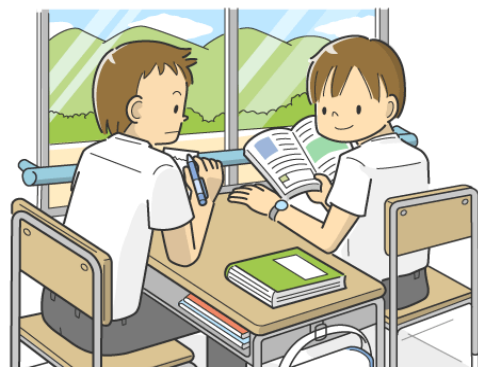
学校(教師)と家庭(保護者)が連携して、子どもの学習意欲を高め、家庭学習の習慣化を図りましょう。

中学校は、義務教育最後の3年間です。この3年間で「自分の夢を現実にする」ために、確かな学力を身につけることが必要です。これは、誰かのためでなく、自分のための学習です。

まず、中学生になり学習習慣で大きな壁だと感じるのは、小学校と中学校の授業形態が変わることで教科担任制になります。また、それにより宿題の内容も変わります。小学校では担任によって宿題の量が調整されますが、中学校の宿題は各教科担当からそれぞれ出されるため、日によって宿題量はまちまちです。また、『テストまでにワークを20ページ学習する』というように、計画性が求められます。そこでつまずいてしまう生徒が多いのが現状です。

その不安を取り除くために、小学校時代から中学校の学習スタイルへスムーズに移行できるよう自主学習等、自ら学ぶ学習スタイルを取り入れていきました。このように小中が連携し事前に学習方法を知ることにより中学校生活に希望が持て自ら学ぶ意欲を高めれると感じました。

また学習習慣ツールとして学習の手引きを活用することにより、各教科の授業の受け方、すすめ方、学習上の注意点等が分かれば、授業の内容も理解でき、学ぶ喜びを味わえます。それは、家庭学習に意欲的に取り組むきっかけとなります。宿題の出し方を含め、家庭学習の方法、テスト前の学習法など見通しをもって、学ぶ事ができることを期待できます。



家庭学習の手引き

西栗倉中学校

家庭学習時間のめやす



1年生 90分

2年生 120分

3年生 180分

家庭学習のねらい

中学1年生

《基礎学力の定着》

計画的に家庭学習（予習・復習）をすすめることができる。

中学2年生

《得意教科を見つける》

計画的に家庭学習（予習・復習）をすすめることができる。さらに興味がある分野の学習を深めることができる。

中学3年生

《予習の習慣化》

予習・復習と同時に、自分で決めた課題に計画的に取り組むことができる。

家庭学習をすすめる順序

1. まず、宿題をする。
2. 宿題が終わったら、予習・復習をする。
3. 予習・復習が終わったら、計画を立てた自分の課題をする。

- 音読・自主学習ノートの活用（授業内容の写し書きなど）
- 漢字・英単語を文で覚えられよう取り組む
- 授業で取り組んだ問題をもう一度、解いたり、ノートを見直して内容を整理する。
- ワーク、問題集を利用して自分の苦手なところの克服に努める。

家庭学習のポイント

1. 授業を大切にしよう

家庭学習は授業からはじまります。じっくりと授業を受けることで、その時間何が大切だったか、何を覚えなくてはならないのかと、家庭学習のやるべきことが見えてきます。

2. 1週間の生活リズムをつかもう

中学生になると、部活動や塾等で、毎日忙しい生活を送る人も多いはず。1週間の生活の流れを確認して、家庭学習に費やせる時間と内容の見通しを立てましょう。

3. 学習計画を立てよう

地道に毎日取り組める、着実な計画にしましょう。また、各教科のバランスや自分の得意不得意科目も考慮した計画にしましょう。

4. 学習方法を工夫しよう

本をただ見るだけ、読むだけ、写すだけでは学力は高まりません。「見ながら声に出して言う」とか「声に出して言いながら書く」等、五感をしっかり働かせましょう。また、絵や図・グラフなどを入れた自分なりの自主学習ノートを作るなど工夫も大切です。

5. 自分で調べよう

わからない箇所は、すぐ答えを見たり誰かに聞きたくなるものです。しかし、楽をして得た知識は、忘れるのも早い。辞書や資料集を使って、可能な限り自分で調べてみましょう。

6. 宿題・ワークはその日のうちに取り組もう

宿題やワークは、学習内容の再確認ができると同時に、自分の理解度を知る手段の1つです。しかも反復学習することによって基礎・基本が定着し、応用力をつける原動力にもなります。後回しにせず、必ず済ませましょう。

7. 「～しながら」学習はやめましょう

テレビを見ながらなど、片手間に、といった勉強では集中力が散漫になるため、効果は上がりません。静かに勉強に集中できる環境を整えましょう。

こればっちり (国語)の学習方法

西栗倉中学校

(1) 授業中の注意点

- | | | |
|-----------|-----|---|
| ☆授業は真剣勝負 | ・・・ | 授業はみんなで創る。
自分の考えを大きな声で話す。
人の考えをしっかりと聞く。 |
| ☆感覚を研ぎ澄ます | ・・・ | 人間の感覚（五感）をしっかりと使う。
大切なことは聞き逃さない。 |
| ☆地道な努力 | ・・・ | しっかりと考える。答えが出なくてもねばる。
黒板に書いてあることは必ずノートに写す。
授業中に覚える。
わからないことは授業後必ず解決する。
(自分で調べる→友達に聞く→先生に聞く) |

(2) 家庭学習について（予習・復習）

- | | |
|--------|---|
| ・予習・・・ | 本文がすらすら読めるように、音読を繰り返す。
毎日漢字練習をする。 |
| ・復習・・・ | 漢字テストの間違いを直し、反復練習をする（テストの裏）
ノートを見返す。授業中に何度も出てきた言葉は重要語句なので覚える。
自主学习ノートに自分でまとめる。
学習した範囲をワークで整理をする。
単元が終わったら、プリントで整理をする。わかるまで繰り返す。 |

(3) 持ち物（準備物・置いておいてよいもの）

- | | | |
|-------------|-----|-----------------------|
| ・準備物 | ・・・ | 教科書、ノート、学習漢字ノート、国語の学習 |
| ・置いておいてよいもの | ・・・ | 国語資料集、国語ファイル、国語辞典 |

(4) テストの取り組みについて（テスト勉強の仕方、ポイント）

- | | |
|---|---|
| ・ | <u>ノート、プリント、ワークは見直しをする。</u> 特に書く問題は自力で解いておく。 |
| ・ | <u>授業中に「大切!」と貼ったところは、必ず覚える。</u> （ノートにチェックしておこう） |
| ・ | 漢字テストで覚えていなかった漢字を復習して覚える。 |

こればっちり (数 学) の学習方法

西栗倉中学校

(1) 授業中の注意点

- ・授業に集中すること。
- ・間違うことを恐れず、積極的に発表すること。
- ・先生の説明や友だちの考えをしっかりと聴くこと。
- ・問題はまず自分で考え、自分の力で解いてみることにしよう。難しい問題に対しても、すぐ答えを見たり教えてもらったりせず、粘り強く考えること。
- ・自分の求めた答えが違う場合は『なぜそうなるのか』と追求していくこと。
- ・わからないことがあれば、遠慮せず質問をすること。
- ・その授業のまとめを確認すること。

(2) 家庭学習について（予習・復習）

※数学は一日にしてならず

- ・予習では、次の授業で学習する箇所についてあらかじめ教科書を見ておこう。「わかんるところ」と「わからないところ」をはっきりさせておくことが大切だ。復習では、授業で学習したことをその日のうちに復習しておこう。同じ問題をもう一度解いてみよう。解けない問題は、日を変えてもう一度解く練習をする。（自主学習ノートの活用）
- ・公式や法則は暗唱して、ばっちり覚えていこう。
- ・ワークやプリントは、書き込み式になっている。途中計算をきちんと書こう。評価の対象になる！

(3) 持ち物（準備物・置いておいてよいもの）

- ・持ち物は教科書、ノート、ファイル、ワーク。
また、1・3年生は教科書以外に補助教材がある。
- ・ファイルは置いておいてもOK。

(4) テストの取り組みについて（テスト勉強の仕方、ポイント）

- ・教科書を中心に、ワーク、プリントをもう一度見直していこう。復習の段階でチェックされている問題を中心に、再度取り組んでいこう。
- ・テスト後は間違った問題をもう一度解いておこう。繰り返しが大切！！

こればっちり (社 会) の学習方法

西栗倉中学校

(1) 授業中の注意点

- ・意欲（やる気）を出して、授業を受けよう。それが一番！
- ・話は集中してしっかり聞こう。
- ・発表して授業を盛り上げよう。わからないところは質問しよう。
- ・ノートは、授業中の話をきちんと聞き、自分で工夫して書こう。まとめも書く。
- ・自分の考えを求められたら、わかりやすく説明しよう。
(聞く→考える→発表する)
- ・定期テストや小テストの準備は必ずしよう。
(その頑張りが評価の対象になる！)
- ・学問に王道なし！日々の授業を大切にする。
1日3分授業を聞いていなかった → 1ヶ月で何分のロスになるかな？

(2) 家庭学習について（予習・復習）

- ・予習・・・教科書の次に学習する部分を、声に出して読んでおこう。（音読）
- ・復習・・・授業中に覚えることができれば、ベスト！
学習した内容を自分の言葉で説明できるか、確認をしてみよう。
自主学習ノートに授業で学習したことを書き写そう。
- ・毎日、新聞を読む習慣をつけよう。

(3) 持ち物（準備物・置いておいてよいもの）

- ・準備物→教科書、資料集、ノート、プリントファイル、地図帳、色鉛筆
- ※プリントファイルと色鉛筆は、学校に置いたままでよい。

(4) テストの取り組みについて（テスト勉強の仕方、ポイント）

- ・テスト前は教科書・ワーク・プリントなど利用し、繰り返し練習しよう。
(いらないノートや紙など利用して、とにかく書いて覚える。)
- ・勉強は、目（読む）・耳（聞く）・口（声に出す）・手（書く）すべてを使うと、
効率がアップします。さあ、やるぞ！
- ・重要な語句は、必ず自分の言葉で説明できるようにしておこう。
- ・日頃から、資料から読み取る習慣をつけておこう。
(何が増えて、何が減ったのか？その変化があるのは、なぜなのか？)
- ・重要な用語は漢字で書けるように練習しておこう。

こればっちり

西栗倉中学校

(理 科) の学習方法

(1) 授業中の注意点

- 勉強は、自分の道具です。(忘れ物をしない。授業の始まる前に準備する。)
- 休み時間とのけじめをつける。(あいさつが授業のスタート)
- 授業に集中する。
 - ①先生の説明をよく聞く。
 - ②説明の内容を理解するよう努力をする。
 - ③わからない時は遠慮なく質問する。(みんなのためにもなる)
 - ④先生の質問には積極的に答える。
- ノートをとる。(黒板をただ書き写すだけではだめ。先生の説明もノートにメモする。)
 - ①黒板に書かれた内容を理解しながら写す。
 - ②重要な言葉は、特に目立つようにしておく。(マーカーで色、アンダーラインなど工夫)
 - ③授業ノートはきれいである必要はない。(間違ったところを消さずに残しておく。)

(2) 家庭学習について(予習・復習)

- 予習
 - ・教科書の習った所から6ページを音読する。
 - ・読めない漢字やわからない言葉・内容については授業ノート右側にメモをする。→調べる。
- 復習
 - ・授業ノートを見直し、自主学習ノートにまとめる。その日の授業の内容を確認する。
(自分の書いた内容が全てわかっているかな? 用語を覚えているかな?
用語を説明できるかな?)
 - ・もしわかっていないことがあったら。教科書を使って調べてみる(誰かに聞く。)
 - ・それでもわからなかったら、もう一度先生に聞く。(自主学習ノートに質問を書いておく。)

(3) 持ち物(準備物・置いておいてよいもの)

- 準備物(持ち帰り)・・・教科書、授業ノート、自主学習ノート、毎日の復習、筆記用具、定規
- 置きっぱなし・・・・理科ファイル(必要なときには持って帰って良い)

(4) テストの取り組みについて(テスト勉強の仕方、ポイント)

- テスト前
 - ・基礎の学習の問題を見直す。
 - ・プリントを見直す。(問題が解けるようになっているかな?)
 - ・授業で作ったノートをもう一度確認する。(自主学習ノートに写す。)
- テスト後
 - ・テスト直しを自主学習ノートにして提出する。(間違えた問題の正解とどうして間違えたか、次に正解するためにどうするかを記入する。)

これでばっちり

(English) の学習方法

西栗倉中学校

(1) 授業中の注意点

- ・忘れ物はしないこと。
- ・色ペンは常に2色持っておこう。
- ・音読やペア活動ではしっかり声を出そう。知らない単語でも、まずは聞いた音をまねすることが大切。(学習態度として、評価に入る！)
- ・ノートはていねいに書こう。読みにくい字はだめ。
授業で何を学習したか、きちんとまとめておくこと。
- ・次の時間までにしておくように言われたことは、必ずやっておこう。

(2) 家庭学習について(予習・復習)

- ・課題には指示されたとおりにていねいに取り組もう。特に答え合わせをする時は、いい加減な答え合わせをしないように気をつけよう。
- ・提出物は期限を守ろう。(遅れたら減点になる。)
- ・予習・復習については、その時に必要なことを授業で連絡する。それが指示通りにできることが、一番大切。
- ・自主学習ノートを活用して、復習に取り組もう。
(英文や単語を繰り返し書くなど。)
- ・授業で「英語の効果的な家庭学習法」を配布。しっかりと活用しよう。

(3) 持ち物(準備物・置いておいてよいもの)

- ・(準備物)教科書、ワーク、ノート、ファイル、ビンゴ など
- ・(置いておいてよいもの)ファイル、(次回の記入ができていたら)ビンゴ

(4) テストの取り組みについて(テスト勉強の仕方、ポイント)

- ・テスト範囲が発表されたら、余裕をもった学習計画を立てよう。
- ・英語はとにかく繰り返し何度も勉強することが大切。同じものを飽きるくらい見直そう。(一夜漬けで覚えたことは、すぐに忘れてしまう。)
- ・本文や授業中に練習する英文や単語は、必ず書いて覚えよう。
見て、読んで、書いて・・・ の積み重ねが大事。「継続は力なり」

こればっちり (音楽)の学習方法

西栗倉中学校

(1) 授業中の注意点

- ・ 早めに音楽室へ入り、授業の用意をして待つこと。
- ・ 忘れ物をしないようにしよう。
- ・ 授業中は私語をせず、授業に集中しよう。
- ・ テストは授業で学習したことから出題されるため、欠席したり、欠課をした時は、友達に聞いたり、先生に聞いたりしておこう。
- ・ 授業後に提出物がある時は、忘れないように提出しよう。
- ・ 提出した物が返却された時は、再提出がないか必ず確認しよう。

(2) 家庭学習について(予習・復習)

- ・ 普段の授業で予習をしたりすることはないが、歌詞を覚える時は、家でもしっかり歌って覚えよう。
- ・ リコーダーは、家でもしっかり練習しておこう。
- ・ 学習プリントなど、授業中に完成できなかった場合は、決められた期限までに提出する。

(3) 持ち物(準備物・置いておいてよいもの)

- ・ 持ち物は教科書、ノート、ファイル、資料集、リコーダー等ですが、授業の内容で準備物は変わることがある。
- ・ ファイル、リコーダーは学校に置いておいて構いませんが、自分できちんと管理しよう。

(4) テストの取り組みについて(テスト勉強の仕方、ポイント)

- ・ 授業でポイントと言っているところは、必ず見ておくこと。
(やみくもに暗記してもはずれるよ！)
- ・ 聞き取りテストは、授業で聴いた曲が出題される。欠席・欠課をした時は、先生に申し出ること。
- ・ 実技テストは、歌唱・器楽それぞれまたはどちらかを学期に1回程度行なう。
(形態としては個人の時と、グループの時がある。)

こればっちり (美 術) の学習方法

西栗倉中学校

(1) 授業中の注意点

- 授業の5分前には着席して、授業の用意をして待つこと。
- 忘れ物をしないようにしよう。
- 作業中は私語をつつしんで、作業に集中しよう。
- 常に正しい姿勢で作業を行おう。
- テストは授業で学習したことから出題されるので、欠席したり、欠課をした時は、友達に聞いたり、先生に聞いたりしておこう。
- 授業後に提出物があるときは、忘れないように提出すること。

(2) 家庭学習について（予習・復習）

- 長期休業中には課題を出すので、計画的に取り組んで必ず提出しよう。
- テスト前には、テストの勉強の仕方やポイントを解説する。
計画を立てて勉強すること。
- 作業が遅れている場合は、宿題にする。

(3) 持ち物（準備物・置いておいてよいもの）

- 持ち物は教科書、ファイル、資料集、鉛筆等（追加することもある。）
- ファイル、資料集、デザインセットは美術室に置くことも可。

(4) テストの取り組みについて（テスト勉強の仕方、ポイント）

- 授業で学習したことが中心になる。特に、教科書、資料集、プリントを良く見ておこう。
- テストの中に実技問題が出題されるため、鉛筆や定規などが必要。

こればっちり

西栗倉中学校

（保健体育）の学習方法

（１）授業中の注意点

〈授業の流れ〉※保健の時は事前に連絡

①ランニング＋補強運動（腹筋・背筋・腕立て・馬跳び等）

②準備体操

③ストレッチ（前屈→開脚→股関節１→股関節２）

④あいさつ

⑥実施種目（実技・ゲーム）

⑦授業のふりかえり、次の授業の予定

〈約束ごと〉

○時間を大切に ～移動は素早く

○けじめをつける ～事故や怪我につながらないように、安全面に気をつけよう。

○道具や場所を大切に ～気持ちよく使えるようにしよう。

※見学・ケガをしている場合は授業が始まる前までに申し出ること。

見学時は体操服で。

水泳の授業、また、長期の見学については見学理由と保護者のサインが必要。

（２）家庭学習について（予習・復習）

・体力は、生活するための基盤である。日頃から、体を動かそう。

（３）持ち物（準備物・置いておいてよいもの）

・持ち物：体操服（水泳の時は水着）・水筒

・置いておいてよいもの：体育館シューズ、教科書、実技書、保健体育ノート
（テスト前には、持ち帰ること。）

（４）テストの取り組みについて（テスト勉強の仕方、ポイント）

・授業の中で運動の行い方などのポイントを各自でまとめておこう。

・スポーツ、健康に関する知識に日頃から興味を持ち、新聞を読む、ニュースを見る習慣をつける。

こればっちり (家 庭 科) の学習方法

西栗倉中学校

(1) 授業中の注意点

- ・ 1年生の家庭科の授業は10月頃～3月、2年生は4月～10月頃、3年生は9月～12月。
- ・ けじめをつける 包丁を使用したり火を扱ったりする。実習や実験の際にはケガなどの安全面に気をつけよう。
- ・ 道具や場所を大切に お互いが気持ちよく使えるようにしよう。
家庭科は、学習したことを、自分の生活にいかにかかしていかかが大切。
『自分なら…』と、常に考えながら学んでいこう！

(2) 家庭学習について（予習・復習）

- ・ 予習
授業で出した課題は、確実に提出すること。
- ・ 復習
料理や裁縫（ボタンつけなど）家庭科の授業で学習したことを、自分の生活に生かそう。また、家でしっかりお手伝いをしよう。

(3) 持ち物（準備物・置いておいてよいもの）

- ・ 準備物：教科書、資料集、技術家庭総合ノート（置いておいてもよい）
*テスト前は持ち帰り、勉強すること。
- ・ 実習内容によって、必要なもの：エプロン・マスク・三角巾・裁縫道具など

(4) テストの取り組みについて（テスト勉強の仕方、ポイント）

- ・ テスト前に配布する詳しい範囲表を利用し、計画的に勉強しよう。
- ・ 実習の中での要点等も範囲に入るので、実習後、各自でまとめを作っておくこと。

これでばっちり (技 術) の学習方法

西栗倉中学校

(1) 授業中の注意点

- ・授業に集中する。(授業が勝負)
- ・授業内でわからなかったことがあれば、授業内に理解できるようにする。
(わからないことはわからないままにしない。)
- ・技術室、パソコン室では勝手な行動はせず、先生の指示に従う。
- ・機械や工具を大切に扱い、ケガがないよう安全に使用する。

(2) 家庭学習について(予習・復習)

- ・家庭学習は特に必要ないが、授業でわからないところや生活の中で授業に関わる
ところは、自分で調べるか、質問しに来ること。
- ・生活の中の技術に関心を持つことから始めよう。

(3) 持ち物(準備物・置いておいてよいもの)

- ・準備物は、教科書と技術家庭総合ノート(ファイルになっているもの)
指示がない限り、学校に置いていても可。
- ・木工や金属加工の場合、体操服が必要な場合あり。

(4) テストの取り組みについて(テスト勉強の仕方、ポイント)

- ・テスト前・・・教科書、ノート、プリントでポイントを押さえて、読んだり
書いたりして確認する。